

1.	①	11.	④	21.	③	31.	①	41.	①
2.	①	12.	③	22.	②	32.	①	42.	①
3.	②	13.	②	23.	①	33.	①	43.	④
4.	③	14.	④	24.	④	34.	④	44.	①
5.	③	15.	④	25.	①	35.	①	45.	③
6.	③	16.	②	26.	②	36.	②	46.	③
7.	④	17.	③	27.	③	37.	②	47.	②
8.	③	18.	③	28.	③	38.	④	48.	④
9.	①	19.	①	29.	②	39.	③	49.	④
10.	①	20.	②	30.	①	40.	④	50.	②

1.

解答 ①

【解説】

正解は①「事故、偶然」です。名詞の`accident`は、特にけが人や損害を伴う、予期せぬ不運な出来事を指します。`a traffic accident`（交通事故）が典型例です。また、「偶然」という意味でも使われます。`I met her by accident at the library.`（私は図書館で偶然彼女に会った）。②「事件」は`incident`で、`accident`より広い意味を持ち、意図的なものも含む「出来事」を指します。③「行動」は`action`、④「出席」は`attendance`です。

◆補足：`by accident`で「偶然に」という重要な熟語になります。これは`on purpose`（わざと、故意に）の対義語です。形容詞形は`accidental`（偶然的）、副詞形は`accidentally`（偶然に）です。

2.

解答 ①

【解説】

正解は①「不可能な」です。`impossible`は、「ありえない、実行不可能な」という意味の形容詞です。`possible`（可能な）に、否定を表す接頭辞`im-`が付いた形です。物理的に、あるいは論理的に実行できないことを示します。`It is impossible for humans to live without water.`（人間が水なしで生きることが不可能だ）。②「可能な」は`possible`で、`impossible`の対義語です。③「重要な」は`important`、④「人気のある」は`popular`です。

◆補足：`Mission: Impossible`（ミッション：インポッシブル）という映画のタイトルで有名ですね。名詞形は`impossibility`（不可能性）です。`im-`は`b, m, p`の前で`in-`が変化した形で、`impolite`（無作法な）や`impatient`（我慢できない）などの例があります。

3.

解答 ②

【解説】

正解は②の`become short of ~`で、「～が不足する、～が足りなくなる」という意味です。`be short of ~`で「～が不足している」という状態を、`become short of ~`や`run short of ~`で「不足するようになる」という変化を表します。`We are becoming short of food and water.`（私たちは食料と水が不足し始めている）。他の選択肢は、①`run out of ~`が「～を使い果たす」、③`make short of ~`が「～を軽視する」、④`fall short of ~`が「(期待・基準)に達しない」という意味です。

◆補足：`short`には「短い」の他に「不足して」という意味があります。`I'm short of money this month.`（今月はお金が足りない）。

4.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を支配する、管理する」です。動詞の`control`は、機械などを「制御する、操作する」とことや、人、組織、状況、感情などを「支配する、管理する、統制する」ことを意味します。`The pilot is in control of the aircraft.`（パイロットがその航空機を操縦している）。①「～を比較する」は`compare`、②「～を構成する」は`compose`、④「～に貢献する」は`contribute`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`control`は名詞として「支配、制御」という意味でも使われます。「リモコン」は`remote control`と言いますが、これは「遠隔（remote）で制御（control）するもの」という意味です。`take control of ~`で「～を支配下に置く」、`lose control of ~`で「～を制御できなくなる」という表現も重要です。

5.

解答 ③

【解説】

正解は③の`stick to ~`で、「～を堅持する、～に固執する」または物理的に「～にくっつく」という意味です。決めた計画やルール、自分の意見などを変えずに守り続けることを表します。`It's important to stick to the budget.`（予算を守り通すことが重要だ）。他の選択肢は、①`stick with ~`が「～を（あきらめずに）続ける」、②`stick out`が「突き出る」、④`stick up for ~`が「～を擁護する」という、それぞれ`stick`を使った重要な句動詞です。

◆補足：`stick to`と`stick with`は似ていますが、`stick to`が計画や規則、信念といった「方針」を堅持するのに対し、`stick with`は仕事や友人関係といった「活動や関係」を続けるニュアンスで使われることが多いです。

6.

解答 ③

【解説】

正解は③の`advice`で、「助言、忠告、アドバイス」を意味する名詞です。文法的に非常に重要なのは、`advice`が数えられない名詞（不可算名詞）である点です。そのため、`an advice`や`advices`という形にはなりません。他の選択肢は、①`device`が「装置」、②`advise`が動詞で「～に助言する」、④`advertise`が動詞で「～を広告する」という意味です。

◆補足：`advice`（名詞、発音は/ədˈvɪs/）と`advise`（動詞、発音は/ədˈvɪz/）は、スペルと発音、品詞が全て異なるため、明確に区別して覚える必要があります。「一つの助言」と言いたい場合は`a piece of advice`のように数えます。`take someone's advice`（～の助言に従う）。

7.

解答 ④

【解説】

正解は④「(人)が驚いたことには」です。`to one's surprise`は、文頭や文中に置かれ、予期せぬ出来事が起こったことを示す表現です。`one's`の部分には`my`、`his`、`her`などの所有格が入り、誰が驚いたのかを示します。`To my surprise, she knew my name.`（私が驚いたことに、彼女は私の名前を知っていた）。①「喜んだことには」は`to one's joy`、②「安心したことには」は`to one's relief`、③「がっかりしたことには」は`to one's disappointment`です。

◆補足：この`to`は感情の方向を示しています。`surprise`は名詞で「驚き」です。他にも`to my delight`（喜んだことに）、`to my sorrow`（悲しいことに）など、様々な感情を表す名詞と組み合わせることができます。

8.

解答 ③

【解説】

正解は③の`get out of`～`で、主に二つの意味があります。一つは、車や建物、部屋といった閉鎖的な空間から「～から出る、降りる」という意味です。もう一つは、やりたくない仕事や義務を「～から免れる、～を避ける」という比喩的な意味です。`He quickly got out of the taxi.`（彼は素早くタクシーから降りた）。`He tried to get out of doing the dishes.`（彼は皿洗いを免れようとした）。他の選択肢

は、①`get over ~`が「～を乗り越える」、②`get along with ~`が「～と仲良くやる」、④`get through ~`が「～をやり遂げる」という意味です。

◆補足：`Get out of here!`は、文字通り「ここから出て行け!」という強い命令にもなりますが、親しい間柄では「まさか!」「信じられない!」という驚きを表す口語表現としても使われます。

9.

解答 ①

【解説】

正解は①「～に反する、～に逆らう」です。`go against ~`は、規則、法律、人の意志や期待、あるいは自分の信念などに従わず、反対の行動をとることを表す句動詞です。`That goes against my principles.` (それは私の信条に反する)。②「～と一緒に行く」は`go with ~`、③「～なしで済ます」は`go without ~`、④「～を経験する」は`go through ~`がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`against`は「～に反対して、～に逆らって」という意味を持つ前置詞です。この前置詞の持つ対立のイメージを理解しておくと、`go against`の意味も掴みやすくなります。`go against someone's wishes` (～の願いに背く)。

10.

解答 ①

【解説】

正解は①「くつろいだ、リラックスした」です。`relaxed`は形容詞で、心身の緊張がほぐれ、穏やかな気持ちでいる状態を表します。`I felt so relaxed after the yoga class.` (ヨガのクラスの後、とてもリラックスした気分になった)。②「疲れた」は`tired`、③「退屈した」は`bored`、④「関連した」は`related`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`relaxed`は動詞`relax` (くつろぐ、～をくつろがせる) の過去分詞形が形容詞として使われているものです。人を主語にしてその感情を表します。一方、`relaxing` (くつろがせるような) は物事を主語にしてその性質を表します。`a relaxing holiday` (リラックスできる休日)、`I feel relaxed.` (私はリラックスしている)。この使い分けは重要です。

11.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を注文する、～に命令する」です。動詞の`order`は、主に二つの意味があります。一つは、レストランや店で「～を注文する」という意味です。もう一つは、特に軍隊などで、上位の者が「～に命令する」という意味です。`Are you ready to order?` (ご注文はお決まりですか?)。`The`

general ordered his troops to attack.` (将軍は部隊に攻撃を命じた)。①「～を提供する」は`offer`、②「～を飾る」は`decorate`、③「～を組織する」は`organize`です。

◆補足：`order`は名詞として「注文」や「命令」、そして「順序、秩序」という意味も持ちます。`in order to do` (～するために) という目的を表す重要表現も必ず覚えておきましょう。`out of order`で「故障中」となります。

12.

解答 ③

【解説】

正解は③「高さ、身長」です。`height`は名詞で、物の高さや、人の背の高さを指します。`The average height of the players on the team is over 190cm.` (そのチームの選手の平均身長は 190cm 以上だ)。①「重さ」は`weight`、②「光」は`light`、④「戦い」は`fight`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`height`は形容詞`high` (高い) の名詞形です。`in height`で「高さは」と表現できます。`The building is about 50 meters in height.` (その建物は高さ約 50 メートルだ)。`a fear of heights`で「高所恐怖症」を意味します。

13.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を受け入れる」です。動詞の`accept`は、贈り物、招待、提案、謝罪などを快く、あるいは正式に「受諾する、受け入れる」ことを表します。`He accepted my apology.` (彼は私の謝罪を受け入れた)。①「～を除いて」は前置詞の`except`、③「～に接近する」は動詞の`access`や`approach`、④「～を達成する」は`achieve`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`accept`の対義語は`refuse` (～を断る) です。名詞形は`acceptance` (受諾、受け入れ) です。`Please accept our sincere apologies.` (私たちの心からのお詫びをお受けください) のように、フォーマルな文脈でもよく使われます。

14.

解答 ④

【解説】

正解は④の`comfortable`で、「快適な、心地よい」という意味の形容詞です。椅子やベッドの座り心地・寝心地が良いことや、気分がリラックスして楽なことを表します。`This chair is not very comfortable.` (この椅子はあまり座り心地が良くない)。他の選択肢は、①`compatible`が「互換性のある、両立できる」、②`comparable`が「比較できる、匹敵する」、③`combustible`が「可燃性の、燃えやすい」という意味です。

◆補足：対義語は、否定の接頭辞`un-`を付けた`uncomfortable`（不快な、着心地の悪い）です。名詞形は`comfort`（快適さ、慰め）、副詞形は`comfortably`（快適に）です。

15.

解答 ④

【解説】

正解は④「すぐに、ただちに」です。`right away`は、時間をおかずに、すぐに行動することを表す副詞句です。`I'll call you back right away.`（すぐにかかけ直します）。①「正しい方法で」は`in the right way`、②「はるばる、ずっと」は`all the way`、③「時々」は`once in a while`が適切な表現です。

◆補足：`right away`は`immediately`や`at once`とほぼ同じ意味で、特にアメリカ英語の口語で頻繁に使われます。`right`が`away`を強調して「まさに今すぐ」というニュアンスを加えています。

16.

解答 ②

【解説】

正解は②「問題（点）、論点、（雑誌などの）号」です。名詞の`issue`は、議論や検討が必要な「問題（点）、論点」や、雑誌や新聞の「～号」といった意味を持つ重要な単語です。`We need to address the issue of an aging society.`（私たちは高齢化社会の問題に取り組む必要がある）。`the latest issue of a magazine`（雑誌の最新号）。①「組織」は`organization`、③「招待」は`invitation`、④「ティッシュ」は`tissue`です。

◆補足：`problem`も「問題」ですが、`issue`はより公的で、社会的に議論されるべき「論点」というニュアンスが強いです。動詞の`issue`は「～を発行する、発令する」という意味でも使われます。`The government issued a new passport.`（政府は新しいパスポートを発行した）。

17.

解答 ③

【解説】

正解は③の`wake`で、自動詞として「目が覚める」、他動詞として「～を起こす」という二つの意味があります。`What time do you usually wake up in the morning?`（朝はたいてい何時に目が覚めますか？）。`Can you wake me up at 6:30?`（6時半に起こしてくれますか？）。他の選択肢は、①`walk`が「歩く」、②`weak`が「弱い」、④`week`が「週」という意味で、発音が似ているので注意が必要です。

◆補足：`wake up`という句動詞の形で使われることが非常に多いです。`wake`と`wake up`はほぼ同じ意味ですが、`wake up`の方がより一般的で口語的です。活用は`wake - woke - woken`と不規則に変化します。

18.

解答 ③

【解説】

正解は③「～しそうにない」です。`be unlikely to do`は、「～する見込みが低い、～するとは思えない」という意味です。`likely`（ありそうな）に否定の接頭辞`un-`が付いており、物事が起こる可能性が低いことを示します。`The team is unlikely to win the championship this year.`（そのチームが今年、選手権で優勝する見込みは低い）。①「～しそうである」は`be likely to do`で、対義表現です。②「～することができない」は`be unable to do`、④「～することになっている」は`be supposed to do`です。

◆補足：`It is unlikely that ...`という形で「…ということはありそうにない」と表現することもできます。`It is unlikely that he will arrive on time.`（彼が時間通りに到着する見込みは低い）。

19.

解答 ①

【解説】

正解は①の`organize`で、主に二つの意味があります。一つは、イベントや活動などを「計画する、準備する、手配する」という意味です。もう一つは、人々を集めてグループや団体を「組織する」という意味です。`My job is to organize international conferences.`（私の仕事は国際会議を計画運営することだ）。他の選択肢は、②`originate`が「～から始まる、生じる」、③`recognize`が「～を認識する」、④`regularize`が「～を合法化する、正規のものにする」という意味です。

◆補足：名詞形は`organization`（組織、団体）、人を表す名詞は`organizer`（主催者、まとめ役）です。また、「～を整理整頓する」という意味でも使われます。`I need to organize my thoughts before the presentation.`（プレゼンの前に考えを整理する必要がある）。イギリス英語では`organise`と綴ります。

20.

解答 ②

【解説】

正解は②の`make an effort`で、「努力する」という意味です。`effort`は「努力」を意味する名詞で、`make`と組み合わせることで「努力という行為をする」となります。`She made a great effort to improve her English.`（彼女は英語を上達させるために大変な努力をした）。他の選択肢は、①`make a mistake`が「間違いを犯す」、③`make a decision`が「決定する」、④`make a difference`が「変化をもたらす、重要である」という、それぞれ`make`を使った重要なコロケーションです。

◆補足：`make every effort`（あらゆる努力をする）、`in an effort to do`（～しようと努力して）といった表現も覚えておくと便利です。

21.

解答 ③

【解説】

正解は③の`these days`で、「近頃は、今日では」という意味です。過去と対比して、現在の一般的な状況や傾向を述べるときに使われます。`These days, more and more people are concerned about their health.`（近頃は、ますます多くの人々が自らの健康に関心を持っている）。他の選択肢は、①`those days`が「その当時は」と過去を、②`the other day`が「先日、数日前に」と近い過去を、④`some day`が「(未来の) いつか」を指します。

◆補足：`these days`は`nowadays`とほぼ同じ意味で、置き換えることができます。現在形や現在進行形と共に使われることが多いです。

22.

解答 ②

【解説】

正解は②の`have a sore throat`で、「のどが痛い」という意味です。`sore`は「(炎症などで) 痛い、ヒリヒリする」という意味の形容詞で、`throat`は「のど」です。風邪の症状などを説明する際に使います。`I have a sore throat and a slight fever.`（私はのどが痛くて、微熱があります）。他の選択肢は、①`have a stomachache`が「腹痛がする」、③`have a headache`が「頭痛がする」、④`have a toothache`が「歯が痛い」という意味です。

◆補足：体の痛みや不調を表すときは、`have a/an + 症状`の形がよく使われます。`I have a cold.`（風邪をひいている）。`I have a cough.`（咳が出る）。`sore`は他にも`sore muscles`（筋肉痛）や`a sore back`（背中中の痛み）のように使えます。

23.

解答 ①

【解説】

正解は①の`pain`で、「(肉体的な) 痛み」や「(精神的な) 苦痛、骨折り」を意味する名詞です。`She felt a sharp pain in her chest.`（彼女は胸に鋭い痛みを感じた）。他の選択肢は、②`pane`が「窓ガラス」、③`paint`が「絵の具、ペンキ」、④`plain`が「平野」や形容詞で「無地の、簡素な」という意味で、いずれも`pain`と同音異義語または発音が似ている単語なので、リスニングやスペリングで注意が必要です。

◆補足：形容詞形は`painful`（痛い、つらい）です。`-ache`も「痛み」を意味しますが、`headache`（頭痛）や`stomachache`（腹痛）のように、特定の部位の持続的な鈍い痛みを指すことが多いです。`pain`はより一般的で、鋭い痛みにも使われます。

24.

解答 ④

【解説】

正解は④「効果、影響、結果」です。名詞の`effect`は、ある原因によってもたらされる変化や結果を指します。`The medicine had an immediate effect.`（その薬は即効性があった）。`His speech had a great effect on the audience.`（彼のスピーチは聴衆に大きな影響を与えた）。①「努力」は`effort`、②「事実」は`fact`、③「欠点」は`fault`や`defect`が適切な単語です。

◆補足：`have an effect on`で「～に影響を与える」という決まった言い方になります。動詞の`affect`（～に影響を与える）と、名詞の`effect`（影響）は、スペルと品詞が異なるため注意が必要です。`side effect`で「副作用」を意味します。

25.

解答 ①

【解説】

正解は①「～すると期待されている、～するはずだ」です。`be expected to do`は、周りの人々や社会から、ある行動をとることが期待されたり、当然のことと考えられったりしている状況を表します。`All employees are expected to arrive on time.`（全従業員は時間通りに到着することが求められている）。

②「～することが許されている」は`be allowed to do`、③「～することになっている」は`be supposed to do`、④「～するのをためらっている」は`be reluctant to do`が適切な表現です。

◆補足：この表現は、動詞`expect`（～を期待する、予期する）の受け身の形です。`expect A to do`で「Aが～すると期待する」となります。名詞形は`expectation`（期待、予想）で、`meet one's expectations`（～の期待に応える）という形で使われます。

26.

解答 ②

【解説】

正解は②「国家、国民」です。`nation`は、共通の言語、文化、歴史などを持ち、特定の領土に住む人々の共同体、つまり「国家、国」を指します。また、集合的にその国の「国民」全体を意味することもあります。`The whole nation was excited about the victory.`（国中がその勝利に沸いた）。①「自然」は`nature`、③「地域」は`region`、④「通知」は`notice`が適切な単語です。

◆補足：`country`も「国」と訳されますが、`country`が地理的な領土を指すことが多いのに対し、`nation`は人々や文化、政治体制を含んだ「国家共同体」というニュアンスが強いです。形容詞形は`national`（国家の、国民の）です。`the United Nations`（国際連合）。

27.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を否定する」です。動詞の`deny`は、何かが事実ではないと主張したり、自分が何かをしたことを認めなかったりすることを表します。`She denied any involvement in the scandal.`（彼女はそのスキャンダルへのいかなる関与も否定した）。①「～に頼る」は`rely`、②「～を決定する」は`decide`、④「～を遅らせる」は`delay`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`deny`の後ろには、名詞または動名詞(-ing 形)が続きます。`He denied having seen her that day.`（彼はその日、彼女に会ったことを否定した）。`There is no denying the fact that ...`は「…という事実は否定できない」という決まった言い方です。名詞形は`denial`（否定）です。

28.

解答 ③

【解説】

正解は③「失敗する、不合格になる」です。動詞の`fail`は、「失敗する、うまくいかない」または「（試験などに）落ちる、不合格になる」という意味です。`Even the best teams sometimes fail.`（最高のチームでさえ、時には失敗する）。`I'm worried that I might fail the math exam.`（私は数学の試験に落ちるかもしれないと心配している）。①「（物理的に）落ちる」は`fall`、②「感じる」は`feel`、④「満たす」は`fill`です。

◆補足：名詞形は`failure`（失敗）です。`fail to do`の形で「～しそこなう、～できない」という意味でも非常によく使われます。`The brakes on the car failed to work.`（その車のブレーキは作動しなかった）。

29.

解答 ②

【解説】

正解は②「患者」です。名詞の`patient`は、医者の治療を受けている人を意味します。`The nurse took care of the patients in the ward.`（その看護師は病棟の患者たちの世話をした）。①「親」は`parent`、③「支払い」は`payment`、④「我慢、忍耐」は`patience`です。これらは発音が似ているので、混同しないように注意が必要です。

◆補足：`patient`は形容詞として「忍耐強い、我慢強い」という意味も持ちます。`You have to be patient if you want to be a good teacher.`（良い先生になりたいなら、忍耐強くならなければならない）。名詞と形容詞、両方の意味を覚えておきましょう。

30.

解答 ①

【解説】

正解は①「…だと聞いて残念です」です。`I'm sorry to hear that…`は、相手から良くない知らせや残念なニュースを聞いたときに、「お気の毒に」と同情や慰めの気持ちを表すための決まった言い方です。この`sorry`は「ごめんなさい」という謝罪ではなく、「気の毒に思う、残念に思う」という意味で使われています。②「…だと聞いてうれしいです」は`I'm happy/glad to hear that…`、③「…だと聞いて驚きました」は`I'm surprised to hear that…`、④「…とは知りませんでした」は`I didn't know that…`が適切な表現です。

◆補足：相手が病気になった、試験に落ちた、何かを失くしたなど、良くない知らせに対して、会話を始めるためのクッション言葉として非常によく使われます。`that`は省略されることもあります。`A: I failed the exam. B: Oh, I'm sorry to hear that.`（A: 試験に落ちたんだ。 B: それは残念だったね）。

31.

解答 ①

【解説】

正解は①「…する時までには」です。`by the time…`は「…する時までには（すでに）」という意味の接続詞句です。ある時点を期限として、その時までには主節の動作が完了していることを示します。そのため、主節の動詞は完了形（未来完了`will have done`や過去完了`had done`）になることが非常に多いのが特徴です。`By the time he arrived, the party had already finished.`（彼が到着した時までには、パーティーはすでに終わっていた）。②「…した時」は`when`、③「…する間」は`while`、④「…するとすぐに」は`as soon as`です。

◆補足：`by the time + 主語 + 現在形, 主語 + will have + 過去分詞`（…する頃には、もう～してしまっているだろう）と、`by the time + 主語 + 過去形, 主語 + had + 過去分詞`（…した時までには、もう～してしまっていた）の二つのパターンが基本です。

32.

解答 ①

【解説】

正解は①の`amount`で、「量、額、総額」を意味します。特に、水や時間、お金といった、数えられない名詞の量や、お金の合計額を表すのに使われます。`He inherited a large amount of money.`（彼は

多額のお金を相続した)。他の選択肢は、②`account`が「口座、説明」、③`count`が「数えること」や「伯爵」、④`mount`が動詞で「～に登る」という意味です。

◆補足：`an amount of ～`の形で「ある量の～」と表現します。`the total amount`（総額）。「数」を表す`number`との使い分けが重要です。`a large amount of information`（大量の情報）、`a large number of people`（多くの人々）。

33.

解答 ①

【解説】

正解は①「(病気・困難から)回復する」です。動詞の`recover`は、病気、けが、ショック、経済的な損失など、好ましくない状態から元の良い状態に戻ることを意味します。`He is still recovering from his injuries.`（彼はまだ怪我から回復中だ）。②「～を覆う」は`cover`、③「～を発見する」は`discover`、④「～を記録する」は`record`です。これらは`-cover`という部分を共有していますが、意味は全く異なります。

◆補足：`recover from ～`の形で「～から回復する」と表現するのが一般的です。名詞形は`recovery`（回復）です。`We are all hoping for her full recovery.`（私たちは皆、彼女の完全な回復を願っている）。

34.

解答 ④

【解説】

正解は④の`aim`で、名詞として「目的、目標、狙い」、動詞として「～を目指す、狙う」という二つの意味があります。名詞の例: `The aim of our project is to improve the local environment.`（私たちのプロジェクトの目的は、地域の環境を改善することだ）。動詞の例: `She is aiming for a perfect score on the test.`（彼女はテストで満点を目指している）。他の選択肢は、①`arm`が「腕」、②`aid`が「援助」、③`air`が「空気」という意味です。

◆補足：`aim at ～`または`aim for ～`の形で「～を狙う、目指す」と表現します。`goal`や`purpose`も「目的」と訳せますが、`aim`はより具体的な目標や、努力して達成しようとする対象というニュアンスが強いです。

35.

解答 ①

【解説】

正解は①「夜ふかしをする」です。`stay up late`は、「遅くまで起きている」という意味の熟語です。就寝時間を過ぎても、寝ずに起きていることを表します。`I have an important exam tomorrow, so I`

can't stay up late tonight.` (明日は重要な試験があるので、今夜は夜ふかしできない)。②「(職場などに) 遅くまで滞在する」は`stay late`、③「寝坊する」は`oversleep`、④「(意図的に) 遅く起きる」は`get up late`です。

◆補足：`stay up all night`で「徹夜する」となります。`stay`の代わりに`sit`を使って`sit up late`とすることも可能ですが、`stay up late`の方がより一般的です。

36.

解答 ②

【解説】

正解は②の`stressful`で、「ストレスの多い、精神的にきつい」という意味の形容詞です。精神的な緊張や圧迫感を引き起こすような状況や仕事に対して使います。`I find my new job very stressful.` (私は新しい仕事がとてもストレスが多いと感じる)。他の選択肢は、①`successful`が「成功した」、③`skillful`が「巧みな、上手な」、④`stretchable`が「伸縮性のある」という意味です。

◆補足：`stressful`は名詞`stress` (ストレス、圧力) に、`full`を意味する接尾辞`-ful`が付いてできた形容詞です。「ストレスでいっぱい」と考えると意味が分かりやすいですね。`deal with stress` (ストレスに対処する)、`reduce stress` (ストレスを減らす) などのコロケーションも重要です。

37.

解答 ②

【解説】

正解は②の`be in (the) hospital`で、「入院している」という意味です。病気やけがの治療のために、患者として病院に滞在している状態を表します。`He had an accident and has been in the hospital since last week.` (彼は事故に遭い、先週から入院している)。他の選択肢は、①`go to the hospital`が「病院へ(診察などに) 行く」、③`be at the hospital`が単に「病院という場所にいる」(見舞い客なども含む)、④`visit the hospital`が「病院を訪れる」という意味です。

◆補足：アメリカ英語では`be in the hospital`、イギリス英語では`the`を付けずに`be in hospital`と言うのが一般的です。`be hospitalized`も「入院する」という意味の動詞として使われます。

38.

解答 ④

【解説】

正解は④「おそらく、たぶん」です。`perhaps`は副詞で、確信はないが、そうかもしれないという可能性を示すときに使います。`Maybe`とほぼ同じ意味ですが、`perhaps`の方がややフォーマルな響きがあります。`"Are you coming to the party?" "Perhaps. I'm not sure yet."` (「パーティーに来ます

か?」「たぶん。まだ分かりません」)。①「完璧に」は`perfectly`、②「永続的に」は`permanently`、③「前もって」は`beforehand`や`in advance`が適切な単語です。

◆補足：`perhaps`は文頭、文中、文末のいずれにも置くことができます。提案などを控えめに切り出すときにも使われます。`Perhaps we should wait a little longer.`（もう少し待った方がいいかもしれませんね）。

39.

解答 ③

【解説】

正解は③の`take a deep breath`で、「深呼吸をする」という意味です。リラックスしたり、気持ちを落ち着けたり、あるいは何かを始める前の準備として、深く息を吸い込むことを表します。`Before you start your speech, take a deep breath.`（スピーチを始める前に、深呼吸をしてください）。他の選択肢は、①`have a deep sleep`が「深く眠る」、②`make a deep sigh`が「深いため息をつく」、④`get a deep thought`は不自然な表現です。

◆補足：`breath`は「息」、`take a breath`で「一息つく」となります。`deep`（深い）が付くことで「深呼吸」となります。緊張している人に対して、`Just take a deep breath.`（まあ深呼吸して）と声をかけることもできます。

40.

解答 ④

【解説】

正解は④の`goal`で、達成しようと目指す「目標」や、サッカーなどのスポーツ競技の「ゴール」を意味します。日本語の「ゴール」とほぼ同じ感覚で使えます。`My main goal in life is to be happy.`（私の人生の主な目標は幸せであることだ）。他の選択肢は、①`soul`が「魂、精神」、②`role`が「役割」、③`coal`が「石炭」という意味で、発音が似ていますが意味は異なります。

◆補足：`set a goal`（目標を立てる）、`achieve a goal`（目標を達成する）、`score a goal`（ゴールを決める）といったコロケーションがよく使われます。`aim`や`purpose`も「目的」と訳せますが、`goal`はより具体的で、到達点が明確な目標というニュアンスが強いです。

41.

解答 ①

【解説】

正解は①の`cough`で、名詞として「せき」、動詞として「せきをする」という二つの意味を持ちます。`He tried to suppress a cough.`（彼はせきを抑えようとした）。`The dust in the air made me cough.`

(空気中のほこりで私はせき込んだ)。他の選択肢は、②`tough`が「困難な」、③`rough`が「ざらざらした」、④`though`が接続詞で「～だけれども」という意味で、発音が似ているので注意が必要です。

◆補足：`have a cough`で「せきが出る」という状態を表します。`cough medicine`（せき止め薬）や`a coughing fit`（せきの発作）といった複合語もあります。

42.

解答 ①

【解説】

正解は①「急いで」です。`in a hurry`は、「あわてて、急いで」という意味の熟語です。時間がないため、通常より速く行動している状態を表します。`He left in a hurry without saying goodbye.`（彼はさよならも言わずに、あわてて出て行った）。②「時間通りに」は`on time`、③「一列に」は`in a line`、④「危険な状態で」は`in danger`がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`be in a hurry`の形で「急いでいる」という状態を表すのが一般的です。`There's no need to be in such a hurry. We have plenty of time.`（そんなに急ぐ必要はありません。時間はたっぷりあります）。動詞の`hurry`（急ぐ）も重要です。`Hurry up!`（急いで！）。

43.

解答 ④

【解説】

正解は④「バレエ」です。`ballet`は、音楽に合わせて物語などを表現する西洋の舞台舞踊を指します。`My sister has been learning ballet for ten years.`（私の姉は10年間バレエを習っている）。①「バラード」は`ballad`、②「風船」は`balloon`、③「投票」は`ballot`で、発音が似ていますが意味は異なります。

◆補足：バレエを踊る女性ダンサーは`ballerina`（バレリーナ）、男性ダンサーは`ballet dancer`と呼ばれます。フランス語由来の言葉なので、単語の最後の`t`を発音しないなど、発音に少し注意が必要です。

44.

解答 ①

【解説】

正解は①の`advise`で、「～に助言する、忠告する」という意味の動詞です。専門的な知識や経験に基づいて、どうすべきか意見を述べることを表します。`He advised me to invest in the stock market.`

（彼は私に株式市場に投資するよう助言した）。他の選択肢は、②`advice`が名詞で「助言」、③`advertise`が動詞で「～を広告する」、④`admire`が動詞で「～に感心する」という意味です。

◆補足：`advise`（動詞、発音は/ədvaɪz/）と`advice`（名詞、発音は/ədvaɪs/）は、スペルと発音、品詞が全て異なるため、明確に区別して覚える必要があります。`advise 人 to do`で「人に～するよう助言する」という形を覚えておきましょう。名詞形は`advice`と`adviser/advisor`（助言者、顧問）です。

45.

解答 ③

【解説】

正解は③「制度、体系、システム」です。`system`は、多くの部分が相互に関連し合って、一つのまとまりとして機能しているものを指す、非常に意味の広い名詞です。`the education system`（教育制度）、`the nervous system`（神経系）、`the solar system`（太陽系）など、様々な文脈で使われます。①「症状」は`symptom`、②「象徴」は`symbol`、④「同情」は`sympathy`です。

◆補足：形容詞形は`systematic`（体系的な、組織的な）です。`a systematic approach to problem-solving`（問題解決への体系的なアプローチ）。日本語の「システム」と同じ感覚で使えることが多いですが、より広い意味を持つことを知っておくと読解に役立ちます。

46.

解答 ③

【解説】

正解は③の`lead`で、主に二つの意味があります。一つは、グループやチームの先頭に立って「～を率いる、導く」という意味です。もう一つは、`lead a ... life`の形で「（～な）生活を送る」という意味です。`She was chosen to lead the project team.`（彼女はそのプロジェクトチームを率いるために選ばれた）。`He leads a simple but happy life.`（彼は質素だが幸せな生活を送っている）。他の選択肢は、①`load`が「～を積む」、②`read`が「～を読む」、④`leave`が「～を去る」という意味です。

◆補足：`lead`の活用は`lead - led - led`と不規則に変化し、発音も「リード - レッド - レッド」と変わるので注意が必要です。名詞形は`leader`（指導者）、`leadership`（指導力）です。

47.

解答 ②

【解説】

正解は②の`standard`で、「標準、基準、水準」を意味する名詞です。品質、行動、成果などを判断するための基準となるレベルを指します。`The quality of their work is of a very high standard.`（彼らの仕事の質は非常に高い水準にある）。他の選択肢は、①`stand`が「立つこと」や「台」、③`state`が「状態」や「州」、④`status`が「地位、身分」という意味です。

◆補足：`standard`は形容詞として「標準的な、普通の」という意味でも使われます。`This is the standard procedure.`（これが標準的な手順です）。コロケーションとしては、`set a standard`（基準を設ける）、`meet the standard`（基準を満たす）、`living standard`（生活水準）などがあります。

48.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を伸ばす、広げる」です。動詞の`stretch`は、手足や体などを「伸ばす」ことや、布やゴムなどの柔らかいものを「引き伸ばす」ことを意味します。`You should stretch your muscles before exercising.`（運動する前に筋肉を伸ばすべきだ）。①「～を強くする」は`strengthen`、②「～を投げる」は`throw`、③「～をスケッチする」は`sketch`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`stretch`は名詞として「ストレッチ、伸縮」や「(土地や時間の) 広がり」という意味もあります。`do some stretches`（ストレッチをする）。`a long stretch of road`（長く続く道）。

49.

解答 ④

【解説】

正解は④「病気」です。`illness`は、「疾患」という意味の名詞で、心身が健康でない状態を指します。`She is absent from work due to a serious illness.`（彼女は深刻な病気のため、仕事を休んでいる）。①「無知」は`ignorance`、②「親切」は`kindness`、③「弱さ」は`weakness`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`illness`は形容詞`ill`（病気の）の名詞形です。`sickness`も「病気」と訳されますが、`illness`がより長期的な、あるいは深刻な病気を指す傾向があるのに対し、`sickness`は吐き気（`air sickness` 乗り物酔い）など、より一時的な不調を指すこともあります。

50.

解答 ②

【解説】

正解は②の`agreement`で、「合意、同意」や「契約、協定」を意味する名詞です。複数の人やグループの意見が一致することや、法的な拘束力を持つ約束を指します。`The two companies reached a formal agreement.`（その2社は正式な合意に達した）。他の選択肢は、①`argument`が「口論、議論」、③`arrangement`が「手配、取り決め」、④`amusement`が「楽しみ、娯楽」という意味です。

◆補足：`agreement`は動詞`agree`（同意する）の名詞形です。`come to an agreement`や`reach an agreement`で「合意に達する」という決まった言い方になります。対義語は、否定の接頭辞`dis-`が付いた`disagreement`（意見の不一致）です。

